

Title	慶應義塾の看護教育：百年のあゆみ
Sub Title	Hundred-year history of nursing education in Keio University
Author	藤井, 千枝子(Fujii, Chieko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>慶應義塾における看護教育は、1918年の慶應義塾大学医学部付属看護婦養成所設立に始まり、2018年度に100周年を迎えた。</p> <p>本年度までに、同窓会である紅梅会の会報と、歴代の卒業アルバムや行事写真等のおよそ110冊をデジタル化した。さらに、学校史料として、1917年の設置認可など、慶應看護の変遷に関わる資料を整理した。古い資料は、劣化も激しく、今後に向け、保存方法の検討とデジタル化を行った。これは、慶應義塾福澤研究センターの専門的な助言と看護医療学部図書室の鈴木、赤堀による。また、小池、朴、田村、安田、中尾、山内、藤井らは、資料の分類整理し、建物や教育、服装史等の慶應看護100年をまとめてきた。</p> <p>2018年度は、小池、山内、田村により、1945年の空襲による火傷で入院された小泉信三元塾長への看護に関わった看護婦にインタビューした。同時に、太平洋戦時下の信濃町の空襲の様子も語られた。看護婦、医師らは、力を合わせ、患者を安全な病棟に移送した。爆弾が体の横を通る最中、担架をかつぎ、時に患者をおぶるなどして、避難したという。入院患者は一人の死者を出さず、極限状態において自らの命をかけて看護を全うした誇りが静かに語られた。1957年には、小泉信三元塾長より、慶應看護に「愛スルモノハ強シ」という色紙を寄せていただいた。その言葉は、襟章の裏に刻まれた時代もあり、慶應看護の真髄として引き継がれることを示唆した。慶應看護教育の名称は幾度となく変化してきたが、慶應看護は常に義塾の中で学びを深めてきた。本研究は、慶應看護の先人たちの足跡をたどり、次の世代に託す貴重な史実を明らかにした。湘南藤沢学会や慶應義塾出版会の協力による慶應看護100年史と写真集の完成、DMC統合研究センター制作による記念映像などの多くの尽力と、3年間の学事振興資金による補助により、慶應看護100年のアーカイブ化が遂行できた。</p> <p>Nursing education in Keio University began in 1918 and marked the 100th anniversary this year. We digitized more than 100 books, such as alumni bulletins, graduation albums and photo books. The old material was quite deteriorated. For this reason, we changed the preservation method. In this year, we interviewed nurses of University president, Shinzo Koizumi's former nursing team in 1945. We heard about the hospital situation in Keio during the war. Nurses have been protecting patients for as long as possible during the war. There were also cases where the nurse carried the patient with Medical doctors and students. Nurses have valued patient safety more than their own lives</p> <p>We have changed the education system many times, however we have always valued teaching in the Keio university. This research has traced the history of our nursing education and has become a valuable historical fact to entrust to the next generation.</p> <p>Three years of continuous research allowed us to store and publish valuable materials.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000006-20180377

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	看護医療学部	職名	教授	補助額	1,550 千円
	氏名	藤井 千枝子	氏名（英語）	Chieko Fujii		
研究課題（日本語）						
慶應義塾の看護教育：百年のあゆみ						
研究課題（英訳）						
Hundred-year history of Nursing education in Keio University						
研究組織						
氏 名 Name		所属・学科・職名 Affiliation, department, and position				
藤井千枝子（Chieko Fujii）		看護医療学部 教授				
小池智子（Tomoko Koike）		看護医療学部 准教授				
朴 順禮（Sunre Paku）		看護医療学部 専任講師				
田村 紀子（Noriko Tamura）		看護医療学部 助教				
山内 慶太（Keita Yamauchi）		看護医療学部 教授				
鈴木 有紀（Yuki Suzuki）		湘南藤沢メディアセンター事務員（看護医療学図書室担当）				
1. 研究成果実績の概要						
<p>慶應義塾における看護教育は、1918 年の慶應義塾大学医学部付属看護婦養成所設立に始まり、2018 年度に 100 周年を迎えた。本年度までに、同窓会である紅梅会の会報と、歴代の卒業アルバムや行事写真等のおよそ 110 冊をデジタル化した。さらに、学校史料として、1917 年の設置認可など、慶應看護の変遷に関わる資料を整理した。古い資料は、劣化も激しく、今後に向け、保存方法の検討とデジタル化を行った。これは、慶應義塾福澤研究センターの専門的な助言と看護医療学部図書室の鈴木、赤堀による。また、小池、朴、田村、安田、中尾、山内、藤井らは、資料の分類整理し、建物や教育、服装史等の慶應看護 100 年をまとめた。</p> <p>2018 年度は、小池、山内、田村により、1945 年の空襲による火傷で入院された小泉信三元塾長への看護に関わった看護婦にインタビューした。同時に、太平洋戦時下の信濃町の空襲の様子も語られた。看護婦、医師らは、力を合わせ、患者を安全な病棟に移送した。爆弾が体の横を通る最中、担架をかつぎ、時に患者をおぶるなどして、避難したという。入院患者は一人の死者を出さず、極限状態において自らの命をかけて看護を全うした誇りが静かに語られた。1957 年には、小泉信三元塾長より、慶應看護にて「愛スルモノハ強シ」という色紙を寄せていただいた。そのお言葉は、襟章の裏に刻まれた時代もあり、慶應看護の真髄として引き継がれることを示唆した。</p> <p>慶應看護教育の名称は幾度となく変化してきたが、慶應看護は常に義塾の中で学びを深めてきた。本研究は、慶應看護の先人たちの足跡をたどり、次の世代に託す貴重な史実を明らかにした。湘南藤沢学会や慶應義塾出版会の協力による慶應看護 100 年史と写真集の完成、DMC 統合研究センター制作による記念映像などの多くの尽力と、3 年間の学事振興資金による補助により、慶應看護 100 年のアーカイブ化が遂行できた。</p>						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
<p>Nursing education in Keio University began in 1918 and marked the 100th anniversary this year.</p> <p>We digitized more than 100 books, such as alumni bulletins, graduation albums and photo books. The old material was quite deteriorated. For this reason, we changed the preservation method.</p> <p>In this year, we interviewed nurses of University president, Shinzo Koizumi's former nursing team in 1945. We heard about the hospital situation in Keio during the war. Nurses have been protecting patients for as long as possible during the war. There were also cases where the nurse carried the patient with Medical doctors and students. Nurses have valued patient safety more than their own lives.</p> <p>We have changed the education system many times, however we have always valued teaching in the Keio university. This research has traced the history of our nursing education and has become a valuable historical fact to entrust to the next generation.</p> <p>Three years of continuous research allowed us to store and publish valuable materials.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）			
慶應義塾大学看護医療学部	慶應看護 100 年史	慶應義塾大学出版会	2018.5			
慶應看護100年史編集委員会	写真でみる慶應看護 100 年	慶應義塾大学出版会・慶應義塾大学湘南藤沢学会	2018.3			
小池智子、山内慶太ほか	戦時に小泉信三先生を看護して	三田評論	2018.12			